

●発表日：平成 30 年(2018 年)8 月 29 日

田原市博物館開館 25 周年記念特別展 「渡辺崋山の神髄」

田原市博物館では、展示の核として、幕末に活躍した渡辺崋山を取り上げ、これまでも崋椿系の画家の作品・資料群を概観する展覧会として、平成 17 年(2005)に「19 世紀の迫真に出会う～渡辺崋山・椿椿山が描く人物画」、23 年に「江戸後期の新たな試み～洋風画家谷文晁・渡辺崋山が描く風景表現」、25 年に「渡辺崋山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美」を開催しました。今回、田原市博物館開館 25 周年を記念して、特別展を開催します。全国の渡辺崋山作品の優品を一同に集結し、渡辺崋山が目指した絵画の神髄を探ります。

〔展示内容〕

(テーマⅠ) 中国へのあこがれ 明清絵画への憧憬

呂公釣渭図(静岡県指定文化財、個人蔵)、十友双雀図(名花十友図、重美、個人蔵)、月下鳴機図(重美、静嘉堂文庫美術館蔵)など

(テーマⅡ) 写実を極める 花鳥画

牡丹図(重美、田原市博物館蔵)、遊魚図(重文、静嘉堂文庫美術館蔵)、翎毛虫魚冊(栃木県指定文化財、草雲美術館蔵)、異魚図(重美、個人蔵)、虫魚帖稿(静岡県指定文化財、浜松市美術館蔵)など

(テーマⅢ) 崋山を知る

黄梁一炊図(重美、個人蔵)、千山万水図(重文、田原市博物館蔵)、崋山先生謾録(重美、個人蔵)、壬午図稿・客坐掌記(重美、田原市博物館蔵)、全楽堂日録・客参録(愛知県指定文化財、個人蔵)、四州真景図(重文、個人蔵)、孔子像・遺書・自決脇差(重文、田原市博物館蔵)など

(テーマⅣ) 人を描く 交流の輪

崋山筆寓絵堂日録(重美、個人蔵)、佐藤一斎像(重文、東京国立博物館蔵)、市河米庵像(重文、京都国立博物館蔵)、一掃百態図(重文、田原市博物館蔵)、芸妓図(重文、静嘉堂文庫美術館蔵)など合計 106 点を展示。

※会期中、展示替があります。

1 開催期間

平成 30 年 9 月 8 日(土)～10 月 21 日(日) 延べ 38 日間

【休館日】 9 月 10 日・18 日・25 日、10 月 1 日・9 日・15 日

2 会場

田原市博物館(田原市田原町巴江 11-1)

開館時間：午前 9 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

(裏面もご覧ください)

3 観 覧 料

一般600円（480円） 小・中学生は無料

※開催初日と10月11日は無料公開。毎週土曜日は高校生無料

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

4 主 催

田原市博物館、公益財団法人崋山会、中日新聞社

5 後 援

愛知県教育委員会

6 期間中の催し物

田原城跡・月見会

日時：9月24日（月・祝）午後6時30分～

会場：田原市博物館

呈茶席（茶席有料）・句会等、月見会開催中は博物館無料開放

特別講演会

日時：10月11日（木）午後1時30分～ 講師：東京大学名誉教授・静嘉堂文庫美術館長河野元昭氏 演題「饒舌館長、崋山の眼差しを語る」

会場：崋山会館

展示解説

日時：9月23日（日）・10月14日（日）いずれも午後1時30分～

会場：博物館内《要観覧料》 講師：田原市博物館長

※別添のチラシをご覧ください。

（担当）田原市博物館長 鈴木 電話（0531）22-1720